厚生労働省自殺防止対策補助事業 はりまいのちの電話公開講座

# 喪失を抱きしめて生きるあなたへ

## 最愛の妻を看取った遺族であり、自らもがん経験者の専門医が伝えたいグリーフワークと心の処方箋



大切な人を失った悲しみは簡単に消えるものではありません。
無理に乗り越えるのではなく、その悲しみを抱えながらどう生きていけばよいか・・・。
本講座では最愛の妻を看取り、自らもがんを経験された専門医の垣添忠生氏から
ご自身の体験をお話ししていただきます。

### 垣添 忠生（かきぞえ ただお）氏 プロフィール

1967年東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学医学部附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務後、1972年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手。この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜、国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992年1月に病院長、同年7月に中央病院長、2002年4月総長に就任。2007年4月国立がんセンターを退職し、同名誉総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。専門は泌尿器科学だが、発がん全般、特に膀胱発がん、前立腺発がんについては今も強い関心をもっている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしてきた。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞を受賞、並びに瑞宝重光章などを受章、2019年12月より日本学士院会員、2025年11月文化功労者。

主な著書：発がんからみた膀胱がんの臨床・がんと人間・患者さんと家族のためのがんの最新医療・前立腺がんで死なないために・妻を看取る日・悲しみの中にいるあなたへの処方箋・がんと人生・巡礼日記 亡き妻と歩いた600キロ・「カキゾエ黄門」漫遊記・Dr. カキゾエ歩く処方箋 など。



**2027年（令和9年）1月24日（日）** 入場無料

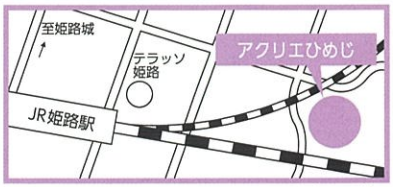
開場 14:00　開演 14:30～16:30　定員 300名 申し込み先着順

会場 アクリエひめじ 中ホール

お申し込みはこちら→

お問い合わせ（平日 13:30～18:00）

社会福祉法人 はりまいのちの電話 事務局
〒670-0012 姫路市本町68
TEL: 079-288-5099　FAX: 079-263-7210
e-mail: jimukyoku@harima-inochi.jp




アクリエひめじ／姫路駅から徒歩15分
（姫路市神屋町143-2）

主催：社会福祉法人 はりまいのちの電話　共催：一般社団法人 日本いのちの電話連盟

後援：兵庫県 / 姫路市 / 姫路市教育委員会 / 姫路市社会福祉協議会 / 姫路市医師会 / 姫路薬剤師会 / 認定特定非営利活動法人コムサロン21